

超硬の可能性求めるJAST(福島県・田村市)訪問
創業当初に被災、復旧を経て、ビット工具主体に再スタート(千葉孝幸社長)

「現場での最優先は納期対応、いかに速く加工するか」 高送り加工で「結果」出す(篠原照明技術担当)

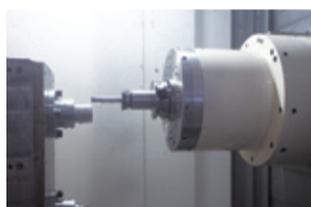
ユキワ製・スーパーG1チャックの存在



現場では、納期対応を第一に掲げる



ATCには43本のスーパーG1チャックが…



機械、工具、ツーリングの組み合わせで「最速」を追求する

「というメリットを享受している。JASTは、現在、20人体制。数年後には年商5億円を目標にしている。」

熊本地震の連日の報道に触れるたびに、地震の脅威が蘇る。筆者自身も阪神淡路大震災の被害の記憶がいつも呼び起こされるが、今回、訪問したJASTは、2010年の創業からまだ日の浅い段階の翌2011年3月、東日本大震災に遭遇した。千葉孝幸社長によると「ちょうど、私が九州出張に出ているときに、工場が被災した。機械や測定機が激しい揺れによって壊され使用不能になった。当社のスタートは、復旧から始まったと言っても過言ではなく、工場が再稼働したのはおよそ3か月後の6月半ばからだった」という。

鉦山用、土木工用のビット工具の製造を主体としつつ、超硬の可能性を求め、超硬チップ、耐摩耗部品なども手掛ける。「工事関連の受注は工場の再開から始まった」という。種類は多岐にわたるが、月産では5000個を数える。加工材料はSNCM、S45C、SKDなど。今後は、ごみの破砕用など、小径インサートの需要が拡大すると予想している。「ユキワ精工のスーパーG1チャックの存在」

ユキワ製スーパーG1チャックでスルークーラント・サイドスルークーラントのシステムを安価に構築。振動が少なく、工具寿命が10%伸長

G1チャックは、営業担当者から「デモ機を出すので使ってみて欲しい」と案内されたのがきっかけ。コレットひとつでスルークーラント及びサイドスルークーラントのシステム構築ができるため、振動を抑えることができるため、振動が少なくチップの長寿命化に寄与してくれる「そうだ。昨年からはじめたオンラインビット関連工事の本格的な量の拡大に対応していくために、ヤマザキマザックの横形マシニングセンタを新たに導入した。」

「同時に、メインの使用工具である三菱日立ツールの高速高送り工具との組み合わせで、ユキワ製スーパーG1チャックとの相性が抜群に良かったため、およそ40本組み合わせ、おおよそ50番を特注した」という。

篠原さんによると、スーパーG1チャックの「買い」は、切削している時の音にあるという。「長年の経験と言うしかないが、刃物が当たっている時、よく切れている場合の、追従したツリーング(コレット)の音」がある。事実、ワークの精度が良くなり、剛性も高いため、切削工具の寿命が10%は伸びているというメリットを享受している。



ビット工具主体に超硬の可能性探るJAST

高精度ツリーングシステム スーパーG1チャック



精度をとことん突き詰めると、コレット式に辿り着く



ユキワだけ精度を保証しています。



ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック 検索 <http://www.yukiwa.co.jp/>



本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.